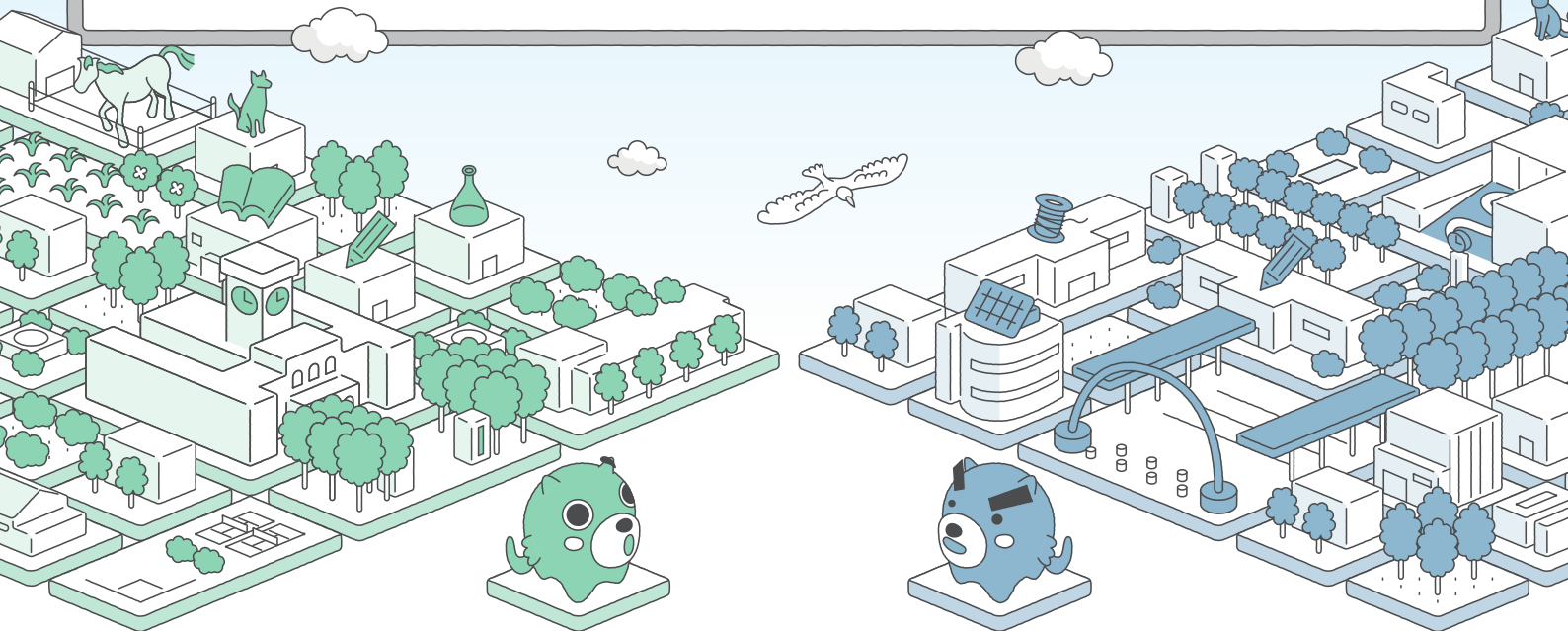




東京農工大学基金

Tokyo University of Agriculture and Technology



返礼品にも登場！
(T-4 ページ)

TOPIC

学生広報スタッフが考案！

農工大かるた完成

農工大かるた



学生広報スタッフが、農工大の“あるある”と魅力が詰まった『農工大かるた』をつくりました。懐かしい風景、現在に続く伝統、農工大の今など、見ごたえのある 46 音をぜひご覧ください。



■ 学長・同窓会長あいさつ



中村 暢文

未来への種をともに育む ——「自然資本」を基軸とした農工共創の新たなステージへ

本学は、創立以来「農学」と「工学」を両輪として、社会課題の解決に挑み続けてきました。現在、地球環境が激変する中、私たちは「自然資本」を核とした持続可能な未来の構築を目指しています。農学の生命への洞察と工学の革新技術を融合させ、自然の価値を科学的に評価し循環させる、世界に類を見ない「唯一無二の研究大学」を確立してまいります。その原動力は、一人ひとりの「個性」と「やりがい」です。構成員が自らの夢に向かって主体的に挑戦し、新たな価値を共創できる環境を整えるため、本学基金への温かいご支援を心よりお願い申し上げます。本学は2029年に創立80周年を迎えます。次なる節目に向けて、皆様とともに未来への種を大きく育てていければ幸いです。

東京農工大学 学長 中村 暢文

東京農工大学は、「実学」の精神のもと、社会を牽引する人材を輩出してきました。近年は、地球規模の課題解決に貢献すべく、教育・研究を推進しています。

しかし、大学を取り巻く環境は激変しており、更なる教育・研究環境の充実が不可欠です。東京農工大学基金は、未来を担う学生たちの学びを支え、研究活動を行うための重要な柱です。本基金の趣旨に賛同する多くの方々からの支えが、学生たちの学びを豊かにし、未来を切り拓く力を育みます。

東京農工大学同窓会としても、学びと研究の場がさらに発展していくよう、この活動を広く紹介しています。

引き続き、東京農工大学基金の取り組みに関心をお寄せいただければ幸いです。

東京農工大学 同窓会長 大伴 秀郎

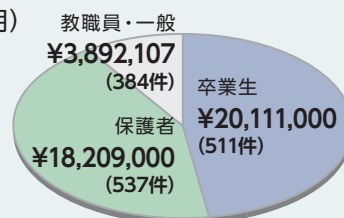


大伴 秀郎

■ 東京農工大学基金へのご寄附状況

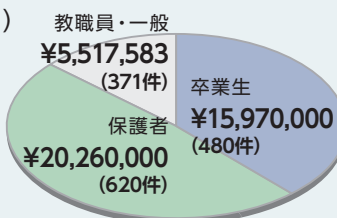
2024年度
(2024年4月～2025年3月)

総額：
42,212,107円



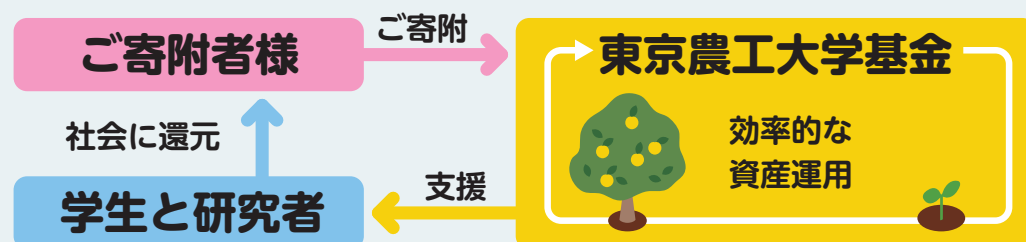
2025年度
(2025年4月～2026年3月)

総額：
41,747,583円



■ 東京農工大学基金の必要性和目指すもの

大学の財源は物価上昇や給与引き上げに対応できておらず、財政基盤の強化と安定化は喫緊の課題であり、基金のさらなる充実が必須の状況です。皆様からのご寄附は本学の財政基盤強化と教育研究体制の拡充のため、資産運用にも活用しています。将来的には元本を毀損せずに運用益のみで永続的に支援可能な体制構築を目指しています。基金は学生や若手研究者への支援を通じ、教育研究の成果を社会に還元していきます。



■ 東京農工大学基金のご案内

東京農工大学基金には、以下の種類があります。ご寄附者様のご意向により、ご寄附いただく基金をお選びください。



東京農工大学基金 … 在学生への各種支援を行う基金です

グローバル人材の育成

学生の海外留学・海外派遣を支援します。



イノベーション人材の育成

起業家意識を培うため国際ビジネスの研修やビジネスプランコンテスト等のイベント開催をサポートをします。



卓越した教育の実現

学業の優秀な学生や、学会での優れた発表を行った学生へ支援します。



健全な学生生活のための環境支援

メンタルケアや就職などの支援をします。



世界に誇る学術研究の推進

国際学術論文の発表にかかる費用を支援します。



修学支援基金 … 修学を断念することがないように、経済的支援を行う基金です

経済的理由による修学困難な学生の支援

入学金、授業料などの免除や、奨学金の支給をします。



障害のある学生の支援

修学・研究活動の支援や、バリアフリー化などの環境の整備をします。



若手研究者育成基金 … 学生や若手研究者を支援するための基金です

若手研究者や研究者を目指す学生への研究活動等を支援

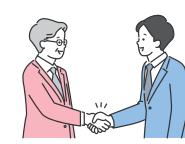
研究プロジェクト等にかかる費用を支援します。



論文投稿、学会発表にかかる旅費や費用を支援します。



研究者、実業家等と交流をサポートします。



現物資産活用基金 … 現物資産(土地、建物等)によるご寄附ができます



遺贈によるご寄附 … 遺言により、ご自身の遺産を本学基金へご寄附いただけます

基金事業内容の紹介①



この事業へのご支援をご希望の場合は

東京農工大学基金

をお選びください。



『海外研究留学プログラム』

- 海外機関での研究活動にチャレンジする経験を積んでほしい。
- 将来、国際社会で活躍するための未来価値をはぐくんでほしい。

学部最終学年（大学院進学予定者）
対 象 及び
修士課程（博士前期、専門職学位課程含む）の学生

支援内容
◆ 渡航費用の補助：上限 20 万円
◆ 奨学金：地域により月額 10 万円または 15 万円



Italian Republic



農学府農学専攻 修士課程 1 年 小林 拓海

皆様からの温かいご支援のおかげで、University of L'Aquila(Italy)における3ヶ月間の充実した研究留学を実現することができました。

現地では、ウシ卵子および初期胚の超微細構造解析に向け、透過電子顕微鏡（TEM）用サンプルの作製や多様な染色手法の習得に取り組みました。実験が計画通りに進まないことや、文化・生活環境の違いといった様々な壁に直面することもありました。しかし、現地の教授や技術者、学生の皆様、そして同時期に留学されていた岡山大学の皆様など、多くの方々に支えられたおかげで、無事に研究活動を遂行することができました。研究室外でも、ホームパーティーやイベントに何度も招いていただき、国境を越えてたくさんの友人ができたことは、私にとってかけがえのない財産です。

今後はこの経験を糧に、現在取り組んでいるウシ体外受精胚の研究をさらに発展させるとともに、後輩たちが留学への一歩を踏み出せるよう、自身の経験を伝え、積極的に後押ししていきたいと考えております。

将来は生殖医療や
医薬品分野で
社会に貢献したい

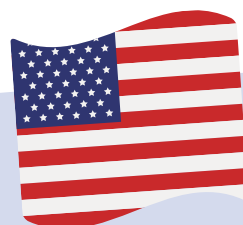
University of L'Aquila



※所属、学年は奨学金支給時のものです。

United States of America

新たな分野の
実験により
研究手法の幅が
広がりました



フロリダ州立大学



工学府応用化学専攻 博士前期課程 1 年 吉田 彩乃

私はこの度、アメリカ合衆国のフロリダ州立大学にて約2ヶ月間の研究留学をしました。私は自己集合性ペプチドを利用した機能材料の開発に取り組んでおり、NMRによる解析を専門とする研究室に滞在して活動を行いました。所属するMagLabは世界でも最高分解能を誇る固体NMR装置を所有しており、様々な研究室が集まる環境下で研究活動を行うことができました。日々の実験やミーティングにおける継続的なコミュニケーションを通じて、研究室の一員として主体的に参画する姿勢の重要性を深く認識いたしました。さらに、新たな分野の実験にも挑戦することができ、研究手法の幅を広げることができました。

本研究留学において、一人での異国での生活に不安や困難もありましたが、自身の研究を進めるとともに、現地での交流を通じて多くの学びと貴重な経験を得ることができました。これらは今後の研究を進めるうえで大きな糧になると感じております。

基金事業内容の紹介②



この事業へのご支援をご希望の場合は

東京農工大学基金

をお選びください。



『実験・実習の改革に向けた環境整備』

基金の支援により、学生の学びは大きく変わっています。実験・実習を「研究への入口」と位置づけ、より実践的な教育環境を整備しました。



農学部

「農学フィールド実習および実験実習におけるスマート教育の強化」

FM府中圃場に無線通信環境を整備し、スマート農業実習を実現。さらに、農業機械（平畝マルチャー）を用いた実習により、安全で実践的な学びを提供しています。

圃場 LAN



気象観測装置で収集したデータを、離れた場所でもタイムリーに確認できます

平畝マルチャー



畝を整えながらマルチを敷設する機械作業の仕組みや効率化を実体験で学びます



工学部

「学生実験を“研究への架け橋”に—学生実験の高度化による研究室移行ギャップの解消と連続した化学系先端人材の育成基盤の再構築—」

高速液体クロマトグラフィー



—学生実験を研究への架け橋に位置付ける—を目的に、教育内容の高度化を図りました。その取り組みの一つとして、高速液体クロマトグラフを導入し、赤外吸収スペクトル測定装置をグレードアップ。学生は研究現場と同レベルの分析手法に触れながら、理論と実践を統合した学びを修得できるようになりました。これにより、学部教育と研究活動の間にあったギャップを埋め、連続的な学びの基盤を構築することができました。

物質を分離・分析する先端機器
学部段階から研究室レベルの分析手法を学びます

■ 基金事業内容の紹介③



この事業へのご支援をご希望の場合は

修学支援基金

をお選びください。



『新奨学金制度※』（旧 遠藤章奨学金）

故遠藤章氏から東京農工大学修学支援基金へ寄附された原資に基づき、本学に在籍するグローバル人材になり得る優れた学部学生であって、経済的理由により修学に困難がある学生8名に対し、学部学生から内部進学後の大学院学生の期間に奨学金を給付することで学業の支援を行って参りました。

今後は、故遠藤章氏のご意志を引き継ぎ、新しい制度として学生支援を続けて参りたく、ご支援をお願いいたします。

※正式名称は後日ご案内予定

支援内容 ■ 博士課程修了まで奨学金毎月10万円の給付

修了された学生の声



武渕 明裕夢 さん

東京農工大学
連合農学研究科
修了

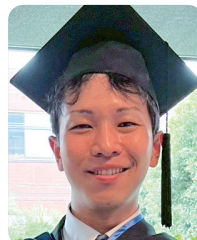
東京農工大学
グローバル
イノベーション研究院
特任助教

私の研究対象は細胞の周りに形成される細胞外マトリクスです。学部生のころ、脊椎損傷したマウスに対し、細胞外マトリクスを分解する酵素を注入すると回復が促進され歩行できるようになる動画を見たことがきっかけで興味を持ちました。

2026年3月に大学院連合農学研究科を修了し、現在は東京農工大学グローバルイノベーション研究院の特任助教として、同じ研究室に所属し研究を行っています。

在学中、この「東京農工大学遠藤章奨学金」の存在は大きく、この支援のおかげで、アルバイトをする時間を減らし研究をする時間を確保できたことで、将来に対する経済的不安なく研究に専念することができました。

みなさまには多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。今後は研究成果で恩を返せるよう、研究に精進してまいります。



深野 弘一郎 さん

東京農工大学
工学府 修了

日本アイビーエム
システムズ・
エンジニアリング
株式会社

私の研究は、裸眼3Dディスプレイの開発に関するものでした。高校生の頃に見たバーチャルアーティストのライブで、リアルとバーチャルが融合する表現に深く感動したことがきっかけです。研究を進める中では、3Dディスプレイのハードウェア開発だけでなく、それが人の感情に与える影響の評価にも取り組み、分野を横断した研究ができた点が印象に残っています。在学中、故遠藤章先生から「自分の研究室の分野に囚われず、世の為になる研究をしてほしい」とのお言葉をいただいたことで、工学的な開発から人の感情に関わる研究まで、分野に囚われない研究に挑戦できたことは貴重な経験です。

また、博士課程への進学という大きな決断ができたのは、遠藤章奨学金によるご支援のおかげです。学部生のうちから受けられる奨学金制度は珍しく、早い段階から博士課程を見据えて研究に集中できたことで、論文執筆の経験を積み、より挑戦的な研究にも取り組むことができました。ご支援くださった皆さまに、心より感謝申し上げます。

・・・R8年度採用された学生3名に、抱負を伺いました！・・・

南野 早紀さん

農学府農学専攻
地球社会学プログラム1年



人間と動物にやさしい社会を作りたいと思い、動物倫理を中心とした社会正義に関する研究をしています。この分野は、文献を読むことが研究の基盤なので、専門外や海外文献にも幅広く手を取り、研究を深化させたいと考えています。このご支援を励みに、社会に良い変化をもたらす研究者となるよう、真摯に研究に取り組んで参ります。

片山 侑輝さん

工学府博士前期課程
機械システム工学専攻1年



学部から取り組んでいた惑星探査ロボットの研究を継続し、将来は惑星探査分野の研究者として、過酷な環境でも活動できる次世代探査技術の確立に貢献したいと考えています。この奨学金によるご支援のおかげで、大学院進学と研究活動に挑戦することができています。研究成果や社会貢献という形でご支援を還元したいです。

奥田 深月さん

農学部
共同獣医学科6年



博士課程では、藻類を用いた経口ワクチンに関する研究を引き続き行います。人獣共通感染症の制御・ワンウェルフェアの実現に向け研鑽を積み、国際社会で活躍できる人材となることを目指します。ご支援いただくにふさわしい学生であり続けられるよう、自覚を持って学業に邁進いたします。

■ 各種基金のご案内



遺贈等によるご寄附

東京農工大学へ遺贈等をお考えの方へ

—— 遺贈について ——

遺言により、ご自身の遺産を特定の人や団体に贈ったり、寄附することを『遺贈』といいます。

ご自身の意思を未来に残すひとつの手段として、母校への寄附を検討される方が増えています。

東京農工大学基金へご遺贈いただいたご寄附は、国際社会で活躍する理工系人材の育成や世界に誇る学術研究の推進に活用させていただきます。



—— 相続財産によるご寄附について ——

故人から受け継いだ財産（遺産）を、相続人であるご遺族の意志で寄附することをいいます。故人のご遺志、ご遺族のご意志を踏まえまして、ご寄附をご検討ください。



遺贈によるご寄附の詳しい内容は
こちらをご覧ください。

<https://kikin.tuat.ac.jp/houhou/souzokuzaisan.html>

お問合せ先：東京農工大学総務課広報室 042-367-5895

未来の種プロジェクト

—— 東京農工大学古本募金 ——

みなさまの読み終えた本が学生の教育・研究を支えます。

ご寄附の方法

- ① 古本をダンボール・紙袋に詰めます。
- ② チャリボンWEBサイトから集荷を申し込みます。
- ③ 買取相当額が農工大に寄附されます。

古本は5冊から、送料無料で受け付けます。
5点未満の場合、1箱につき500円が査定額から差し引かれます。
一回の送付につき、段ボール箱3箱までとなります。



チャリボンWEBサイト
<https://www.charibon.jp/partner/tuat-u/>
※ スマホの方は、左のQRコードから農工大へのご寄附のページに直接アクセスいただけます。

東京農工大学 チャリボン 検索



■ ご寄附の種類別 申込方法と特典

東京農工大学基金では、様々な方法でのご寄附をお受けしております。

ご寄附いただく基金の種類やご寄附の申込方法によって、税制上の優遇措置および謝意の内容が変わりますので、以下の表をご参考にいただき、ご寄附の内容についてご検討ください。

基金の種類	東京農工大学基金	修学支援基金	若手研究者育成基金
申込方法	WEB 申込フォーム	振込用紙	振込用紙
税制上の優遇措置	所得控除のみ	所得控除または税額控除のいずれかを選択可能	所得控除または税額控除のいずれかを選択可能
謝意	卒業生が作る商品	大学オリジナルグッズ	大学オリジナルグッズ



※現物資産のご寄附

※ご検討の方は本学基金担当にご連絡
くださいますようお願いいたします。



※遺贈等によるご寄附

■ 税制上の優遇措置

ご寄附をお寄せいただいた方は、本学が発行する領収書を控除証明書として確定申告書に添付し、所轄税務署へご提出いただくと、次のような税制上の優遇措置（寄附金控除）を受けることができます。

詳しくは、「東京農工大学基金」の WEB サイトをご参照ください。

▶ 個人からのご寄附の場合

■ 所得控除（対象：東京農工大学基金 修学支援基金 若手研究者育成基金）

控除後の金額が所得税の対象となるため、所得税率が高い方は減税効果が大きくなります。

計算式

$$\text{総所得} - \left(\text{課税所得} - \text{諸控除 (扶養控除等)} - \text{寄附金額控除 (寄附金額 - 2,000円)} \right) \times \text{税率} = \text{所得税額}$$

総所得の40%を限度とする

■ 税額控除（対象：修学支援基金 若手研究者育成基金）

寄附された方の所得税率に関わらず、寄附金額の一定割合が直接控除されます。

このため、多くの場合で上記の所得控除よりも減税効果が大きくなります。

計算式

$$\text{所得税額} = \left(\text{総所得} - \left(\text{課税所得} - \text{諸控除 (扶養控除等)} \right) \right) \times \text{税率} - \left(\text{寄附金額控除 (寄附金額 - 2,000円)} \times 40\% \right)$$

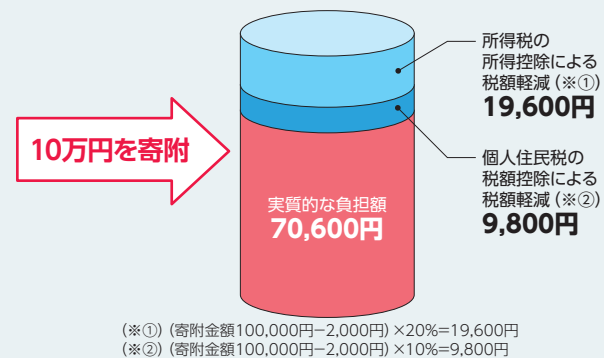
総所得の40%を限度とする

■ 個人住民税の寄附金税額控除

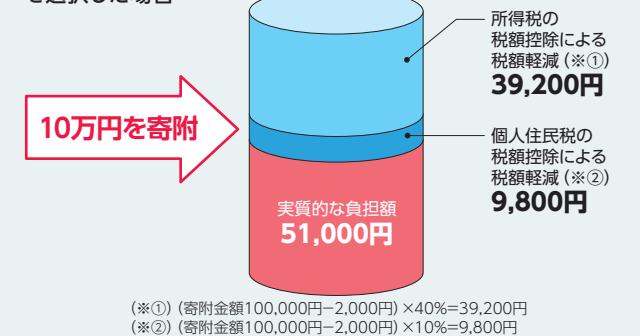
お住まいの都道府県・市区町村が、条例で本学を寄附金控除の対象として指定している場合、個人住民税の控除を受けることができます。詳しくは、お住まいの住民税担当部署へお問い合わせください。

寄附金控除の計算イメージ 課税所得金額500万円(税率20%)で東京都府中市にお住まいの方が10万円を寄附された場合

所得控除を選択した場合



税額控除(対象：修学支援基金および若手研究者育成基金)を選択した場合



▶ 法人からのご寄附の場合

■ 法人税の損金算入（法人税法第37条第3項第2号）

当該寄附金の額を全額損金算入することができます。

■ ご寄附の申込方法

▶ ご寄附の金額(目安)

原則として一口1万円以上でお願いするものですが、額にかかわらずお受けいたします。(※千円単位)

▶ ご寄附の方法

🌐 WEB申込みフォームからのご寄附 (クレジットカード・コンビニ・Pay-easyによる方法)

「東京農工大学基金」の下記WEBサイトから簡単な操作でご寄附いただけます。

東京農工大学基金

検索

<https://kikin.tuat.ac.jp>



〒 郵便局で振込用紙によるご寄附 (郵便局・ゆうちょ銀行)

- 右の振込用紙に必要な事項(ご依頼人・通信欄)をご記入のうえ、郵便局またはゆうちょ銀行の窓口からお振込ください。その他の銀行では、お取り扱いができませんので、ご注意ください。
- **ご依頼人・通信欄「1. 寄附目的」について**
1)・2)・3) いずれか1つの目的を選択してください。いずれも選択していない場合は、「1) 東京農工大学基金」へのご入金とさせていただきます。

▶ 振込手数料について

振込手数料は本学が負担いたします。

▶ 領収書について

領収書は、ご寄附いただいた月の約2ヶ月後に発送いたします。

なお、領収書発行日は、寄附金が決済代行業者や金融機関から本学に入金された日付となります。

▶ 注意事項

一度ご入金いただいたご寄附のお取り消し・ご変更・ご返金は承れませんので、ご注意ください。

このページでご案内したWEB申込みフォーム・右ページ上の振込用紙では「農工大つながるプロジェクト」にお申込みいただけません。「農工大つながるプロジェクト」によるご寄附のお申込みは、T-8ページをご参照ください。

■ 謝意

ご寄附者全員

- ①東京農工大学オリジナルグッズをお送りいたします。(オリジナルグッズの内容は、ご寄附額及び時期により異なりますので、ご了承ください。)なお、20万円以上のご寄附をいただいた方は、『農工大の演習林の木』を使った時計を贈呈いたします。(個数限定のためなくなり次第終了させていただきます。)なお、すでに時計を受け取られた方には、別の大学オリジナルグッズをお送りいたします。
- ②本学WEBサイトへ、ご芳名を掲示いたします。(※1)



農・工両学部での銘板の掲示 (※1)

個人で10万円以上、法人・団体等で100万円以上のご寄附をいただいた方のご芳名を「東京農工大学基金寄附者銘板」に刻み(※2)末永く顕彰させていただきます。



府中キャンパス



小金井キャンパス



※1 ご芳名の掲載を希望されない方については、掲載いたしません。
※2 掲示の時期につきましてはお問い合わせください。

【銘板の設置場所】

府中キャンパス 農学部本館1階 ロビー／農学部本館1階 第一会議室前

小金井キャンパス 管理棟(CUBE)1階 ロビー／管理棟(CUBE)1階～2階への階段踊場

紺綬褒章の伝達

本学に多額のご寄附をされた、住谷学氏(本学卒業・修了生)に、2025年2月22日に日本国政府から紺綬褒章が授与され、同年5月16日に本学の千葉一裕前学長から褒章および褒状が伝達されました。



褒章・褒状の伝達



住谷氏と千葉前学長



有江前理事(元指導教員)と懇談

※ 紺綬褒章は、公益のために私財(個人の場合500万円以上、団体の場合は1,000万円以上)を寄附した者を対象に、表彰されるべき事績の生じた都度、各府省等の推薦に基づき審査され授与されるものです。国、地方公共団体または公益団体(公益を目的とし、法人格を有し、公益の増進に著しく寄与する事業を行う団体であって、当該団体に関係の深い府省等の申請に基づき賞勲局が認定した団体)に対する寄附が授与の対象となります。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	001006	通常払込料金加入者負担
加入者名	国立大学法人東京農工大学	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 2 6 4 1 0 2	
ご依頼人	*氏名	
料 金	日 附 印	
備考		

この受領証は、大切に保管してください。

東京農工大学基金 WEB サイト
<https://kikin.tuat.ac.jp>

東京農工大学基金

検索



お問い合わせ先

東京農工大学総務課広報室
〒183-8538 東京都府中市晴見町3-8-1
TEL:042-367-5895 FAX:042-367-5553
E-Mail:kikin2@cc.tuat.ac.jp

(2026年8月発行)